

テーマ 「オリジナルのカラクリ装置の製作」

担当者 電気電子システム系 桶 真一郎（代表）
電気電子システム系 中村 直人

受入可能人数 10人

実施予定場所 情報演習室 A



【できるようになること】

自分たちで考えたオリジナルのカラクリ装置を設計・製作できる。
簡単な電子回路やプログラムの知識や技術を身に付けられる。

【実施内容】

(1) オリジナルのカラクリ装置を設計・製作しよう

自分たちで決めたテーマに沿ってアイデアを出し合い、オリジナルのカラクリ装置を設計・製作しましょう。2～3人のグループで活動します。アイデアの実現に向けて教員がサポートするので、回路やプログラムが苦手な人でも大丈夫です。

カラクリ装置とは、SNSでバズる装置、心をハッピーにする装置、小中学生に科学や工学の楽しさを伝える実験教材、暮らしを豊かにする便利装置、まったく何の役にも立たない装置などです。

(2) 製作したカラクリ装置を弥生祭で展示しよう

11月に開催される弥生祭で自分たちが製作したカラクリ装置を展示し、来場者のみなさん（小中学生や本校の学生、その保護者など）に見て触って楽しんでもらいましょう。そこでの反応や感想などから新しいアイデアが生まれるかもしれません。

【これまでの例】

心拍センサを用い、二人の心臓の鼓動が同期したときだけLEDがきれいに光る「ときめき♡相性チェッカー」や制限時間内にいろいろな課題のクリアを目指す「時限爆弾解除ゲーム」、赤外線リモコンでまるでマリオカートのようなゲームを楽しめる「Ardicart」などを製作し、弥生祭やオープンキャンパスで展示しました。